

会計検査院長談話

令和5年11月7日

- 1 本日、この1年間の会計検査の結果である令和4年度決算検査報告を岸田内閣総理大臣に手交いたしました。
- 2 令和4年度決算検査報告では、我が国の社会経済の動向や財政の現状等を踏まえて、特に、国民の関心の高い事項等に関する検査の結果として、新型コロナウイルス感染症対策関係経費等（予備費の使用等の状況、持続化給付金の申告状況等）、社会保障（高齢者保健事業等）、国民生活の安全性の確保（高速道路における橋脚補強等）、デジタル（高度無線環境整備推進事業等）、環境及びエネルギー（燃料油価格激変緩和対策事業等）などの様々な分野に関するものを掲記しているほか、制度・事業の効果、予算の適正な執行、会計経理の適正な処理、資産、基金等のストックの有効活用など多角的な着眼点からの指摘や問題提起について多数掲記しております。
- 3 会計検査院では、行政のデジタル化推進の取組等に対応して、実地検査に加えてWeb会議等の形式を活用して在庁検査を行うなど、情報通信技術の一層の活用等を進めることにより、会計検査をより効率的かつ効果的に行うよう努めて参りました。
- 4 今後も、国民の皆様の御期待に応える検査に努め、会計検査院の使命を的確に果たして参ります。